2015 年 10 月 8 日

NEWSLETTER

報道関係各位

【“高校生の夏休み留学”2015 最新動向】
高校生を対象とした短期留学プログラム参加者へのアンケート調査

日本社会のグローバル化に伴い、かつて大学生や社会人がメインであった海外への留学に、中高生が参加するケースが増えてきています。雑誌「留学ジャーナル」の発行元であり、日本最大級の留学エージェントでもある株式会社留学ジャーナル（本社：東京都新宿区信濃町 34 JR 信濃町ビル、代表取締役社長：安藝 清、以下「留学ジャーナル」）が取りまとめた「留学白書 2015」によれば、カウンセリングセンターでの高校生以下の留学相談の件数は、2010 年以降 4 年連続の増加となるなど、増加傾向が顕著に見られます。

特に、夏季の短期留学は「グローバル体験の第一歩」として中高生にも定着してきており、2015 年夏季には、当社主催の中高生向け引率付きプログラムを中心に、2 週間の留学申込者数が対前年 16%と増加するなど人気を博しています。

そこで今回、留学ジャーナルが企画・手配する短期留学プログラム※に参加した高校生及びその保護者（有効回答 67 名）を対象としてアンケート調査を実施しました。主な調査結果は以下の通りです。

※「2015 年夏休み小・中・高校生グループツアー」、ならびに「2015 年高校生のための夏休み留学プログラム」

＝調査結果トピックス＝

【高校生（本人）編】

■留学は「自分で希望した」高校生が 8 割以上。留学目的は「英語力を身に付けたい」がトップに。

今回参加した留学プログラムについて、「誰の希望で参加したのか」を尋ねたところ、84%の学生が自分自身で希望して参加しているということがわかりました。留学を希望した理由としては、「英語力を身に付けたいから」が 67%でトップとなりました。

■留学で「英語に自信がついた」学生が 72%。さらに参加者全員が「英語が好きになった」と回答。

留学をした結果、7 割を超える学生が「英語に対する自信がついた」と回答。一方で、「自信をなくしたがもっと頑張ろうと思った」との回答も 28%あり、留学が自身の英語力を見直すきっかけとなったことがわかる結果となりました。なお、「英語が好きになったか」という質問では、参加者全員が「好きになった」（とても好きになった 62%、まあまあ好きになった 38%）と回答しました。

■参加者の 98%が「また海外に行きたい」と回答。
今後希望する進路は、「日本の大学に進学し、1 年前後の留学」との回答がトップに。

「海外にまた行きたいと思う」と回答した学生が 98%（強く思う 89%、思う 9%）に上り、さらに具体的な進路の希望としては、「日本の大学に進学し、1 年前後の留学をしたい」と考える学生が 42%でトップとなりました。

【保護者編】

■留学への期待は「視野を広げてほしい」がトップに。
帰国後は「より真剣に進路について考えるようになった」との変化が。

保護者の方々に「お子さまを留学させようと思った理由」について尋ねたところ、「視野を広げてほしいから」が 51%でトップとなり、2 位の「英語力を身に付けてほしい（46%）」を上回る結果となりました。留学を通したお子さまの成長としては、「より真剣に進路について考えるようになった」が 37%でトップとなりました。

◆出版・印刷物等へデータを転載する際には、必ず「留学ジャーナル」とクレジットを入れ、下記までご一報くださいますようにお願いいたします。

～本件に関する報道関係者様のお問い合わせ～
株式会社 留学ジャーナル 広報担当：石澤、久保
TEL：050−3033-4122 FAX：03-5312-4469
E-mail：pr@ryugaku.co.jp URL：http://www.ryugaku.co.jp
Facebook 公式ページ「留学ジャーナル」：https://www.facebook.com/RyugakuJournal

■調査の概要

調査対象：　2015 年 7 月 25 日から 2015 年 8 月 25 日に実施した留学ジャーナル企画・手配の「夏休みグループツアー」ならびに「夏休み短期留学プログラム」に参加の高校生、及びその保護者（326 名）

調査期間：　グループツアー参加者、及びその保護者　2015 年 8 月 20 日（木）～8 月 23 日（日）
短期留学参加者、及びその保護者　2015 年 8 月 28 日（金）～8 月 31 日（日）

調査方法：　メールでの調査

有効回収数：67

プログラム	グループツアー			高校生個人短期留学				
期間	15 日間	16 日間	未回答	2 週間	3 週間	4 週間	5 週間	未回答
人数	11	5	0	28	11	7	1	4
合計	16			51				

※中・高校生グループツアー：中学 1 年～高校 3 年生が対象。カナダ、オーストラリア、ニュージーランドで、15～17 日間、ホームステイをしながら現地の学校に通う、引率付の留学体験グループツアー。

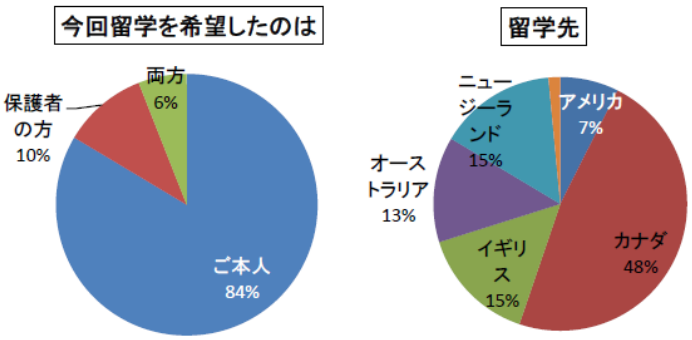
※高校生短期留学プログラム：高校生が対象で、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリスの語学学校にひとりで留学する 8 週間以下の短期プログラム。行きたい国や都市から学校を選ぶことが可能。滞在はホームステイまたは寮から選ぶことができる。

■調査結果サマリー

【高校生（本人）編】

1-1. 今回の留学について

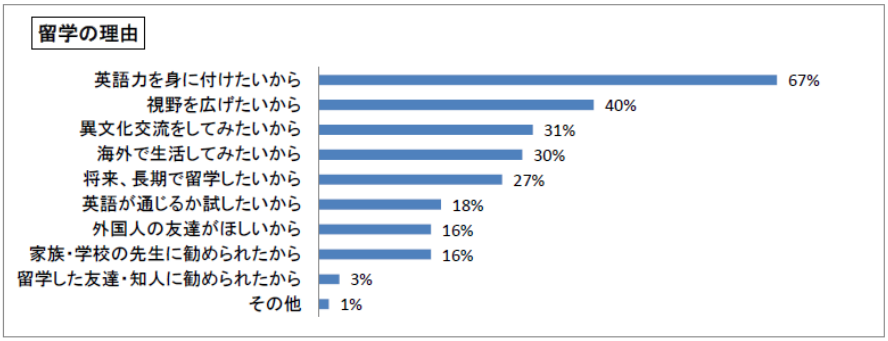
「今回留学を希望したのは」の問いに対し、回答者の 8 割以上が「本人」と回答、保護者の希望は 2 割という結果に。参加者自身がしっかりとした意志や興味をもって、このプログラムに参加していたことがわかる結果となった。また、留学先としては、1 位がカナダ（48%）、2 位はイギリス（15%）とニュージーランド（15%）、次いでオーストラリア（13%）、アメリカ（7%）が続いた。



1-2. 夏季短期留学に参加した理由

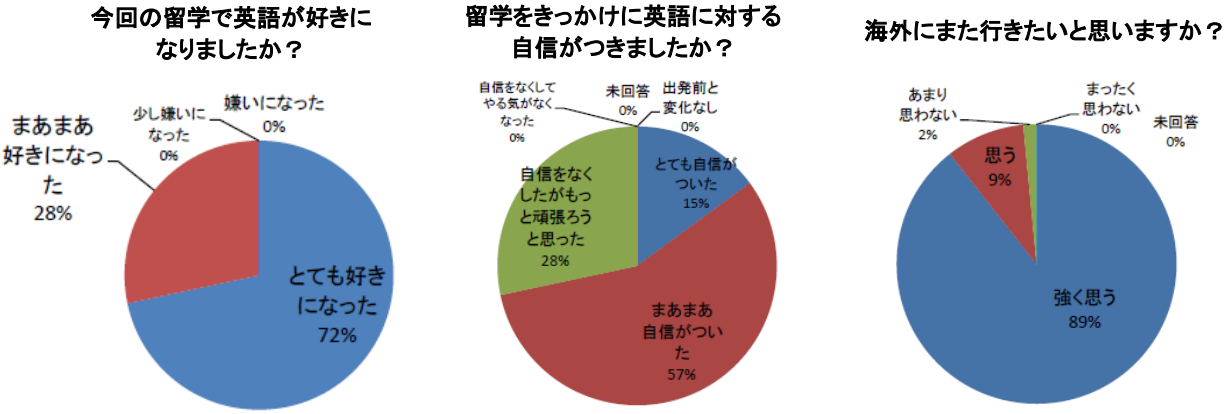
「今回留学を希望した理由」を尋ねたところ、「英語力を身に付けたいから」が 67%でトップとなった。以下、「視野を広げたいから（40%）」「異文化交流をしてみたいから（31%）」「海外で生活してみたいから（30%）」が続く結果となった。

■夏休み留学の理由　※回答項目をあげた中から複数選択（上位 3 つまで）



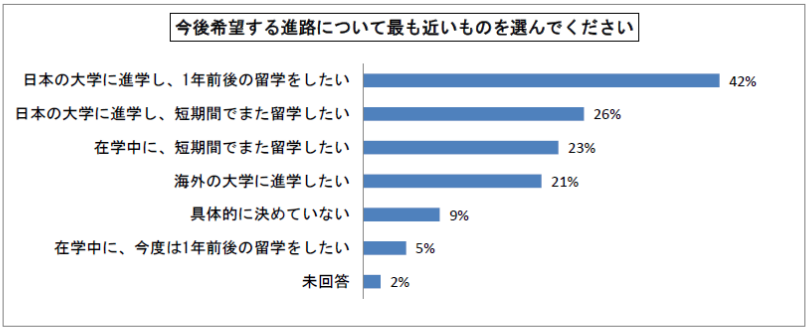
1-3. 夏季短期留学を経験した結果

「今回の留学で英語を好きになりましたか？」の問い対しては、参加者全員が「好きになった」と回答（とても好きになった 62%、まあまあ好きになった 38%）。実際に海外で異文化体験をしたことが、英語を好きになるきっかけになっていることが伺える結果となった。
また、今回の海外留学体験をきっかけに「英語に対する自信がついた」人は、全体で 72%（とても自信がついた 15%、まあまあ自信がついた 57%）となっており、また、「自信をなくしたがもっと頑張ろうと思った」との回答も 28%あり、留学が自身の英語力を見直すきっかけとなり、学習へのモチベーションにつながったことがわかる結果となった。
さらに、「海外にまた行きたいと思う」人は 98%（強く思う 89%、思う 9%）となり、今回の体験によってさらに海外への興味を強くした様子が見て取れた。



また、「海外にまた行きたいと思う」と回答した人に、具体的な進路の希望について尋ねたところ、「日本の大学に進学し、1 年前後の留学をしたい」が 42%でトップとなった。以下、「日本の大学に進学し、短期間でまた留学したい（26%）」「在学中に、短期間でまた留学したい（23%）」「海外の大学に進学したい（21%）」と続き、多くの学生が再度の留学を志す結果となった。

■今後希望する進路について　※回答項目をあげた中から複数選択（上位 3 つまで）

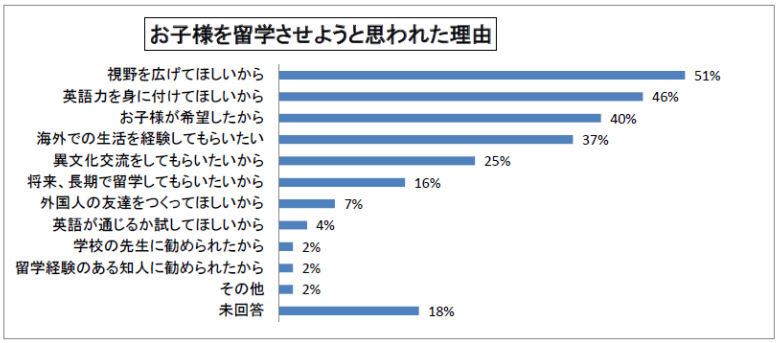


【保護者編】

2-1. 今回の留学について

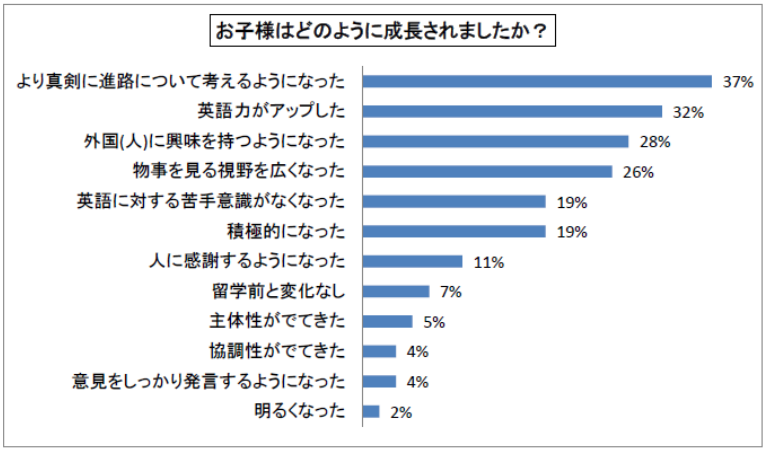
保護者の方々に「お子さまを留学させようと思った理由」について尋ねたところ、「視野を広げてほしいから」が 51%でトップとなった。以下、「英語力を身に付けてほしい」が 46%、「お子様が希望したから」が 40%、「海外での生活を経験してもらいたい」が 37%と続く結果となり、英語力よりも、人間的な成長を期待している様子が見て取れた。

■保護者へのアンケート　※回答項目をあげた中から複数選択（上位３つまで）



2-2. 夏季短期留学を経験したお子さまの変化

留学を通したお子さまの成長について尋ねたところ、「より真剣に進路について考えるようになった」が 37%でトップとなった。以下、「英語力がアップした（32%）」「外国（人）に興味を持つようになった（28%）」「物事を見る視野が広くなった（26%）」が続いた。

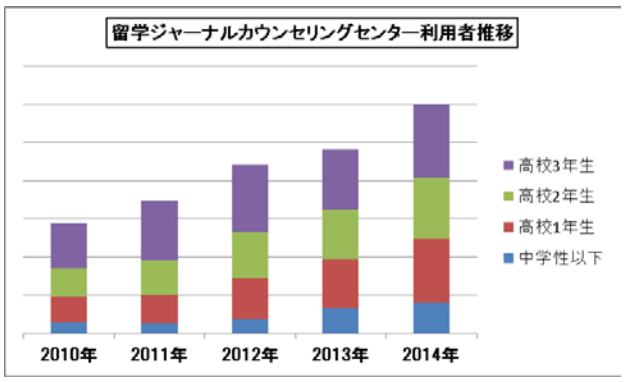


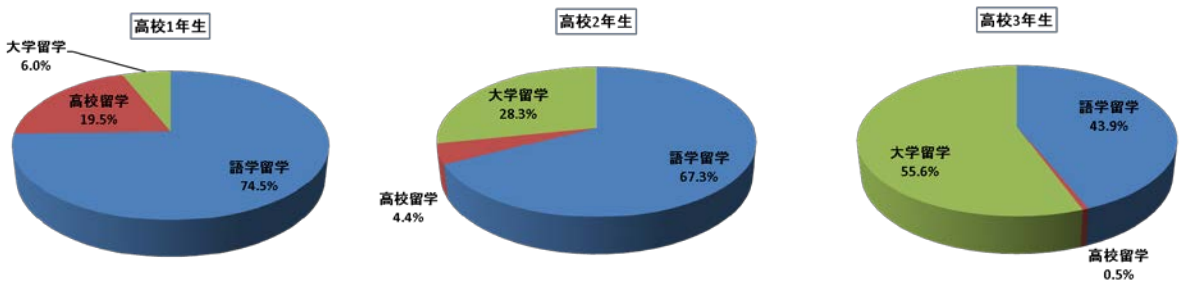
【その他―参考データ①】

「留学ジャーナル利用者数の推移＜高校生以下＞」について（「留学白書 2015」より）

2014 年に留学ジャーナルカウンセリングセンターを訪れた高校生までの留学相談の件数は、2013 年に対して 124%と増加した。

高校 1 年生では相談者の 7 割以上が語学留学で、その大半は夏休みや春休みの 2～4 週間の短期留学。しかし大学留学の相談も 6%あった。高校 2 年生になると大学留学が相談の 3 割近くを占めるようになる一方で高校留学の相談は 4%ほどに減少。語学留学は 1 年生同様に短期が中心だが、なかには卒業後の長期留学やワーキングホリデーの相談なども見られた。3 年生になると大学留学が相談の半分以上を占めた。

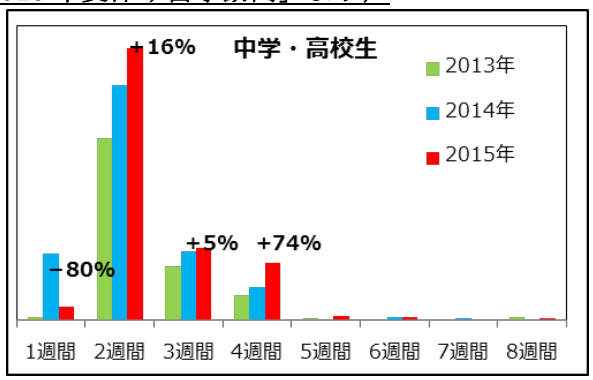




【その他―参考データ②】

夏の短期留学 申込み状況 ＜中高生＞ について（「2015 年夏休み留学動向」より）

中高生の申込みは、前年同様、2 週間の留学申込者数が最多で、対前年 16%と増加している。これは弊社が主催する中高生向け引率付きプログラムの参加者増加が牽引していると思われる。今回大幅な減少がみられたのは 1 週間の留学申込者数で、対前年 8 割減、一方で、4 週間の留学申込者数は 7 割の増加を示している。



【イベント情報】

■留学ジャーナル主催「第 28 回ワールド留学フェア Fall 2015」開催

東　京　10 月 18 日（日）11:00～17:30　ベルサール新宿グランド
大　阪　10 月 25 日（日）11:00～17:00　ハービス OSAKA B2F ハービスホール
名古屋　10 月 17 日（土）11:00～17:00　名古屋国際センタービル隣 別棟ホール
福　岡　10 月 24 日（土）12:00～17:00　エルガーラホール 7F 中ホール

「ワールド留学フェア」は、毎年春と秋に東京・大阪・名古屋・福岡・岡山（岡山は春のみ）で開催するイベントです。アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・イギリス・アイルランドなど英語圏をはじめとする 11 ヵ国から厳選された 85 校の語学学校・専門学校・大学がブース出展し、学校スタッフと直接話すことができます。また留学プラン別のセミナーや、プロの留学カウンセラーによる個別留学相談も実施しています。学生から社会人まで、留学に漠然と興味がある方や留学を予定している方、すでに準備段階の方など、どなたでも参加可能です。
参加者は大学生・社会人が多くを占めますが、昨年開催した本イベントでは、中学・高校生の来場も前年に比べ 50%増加しており、今後も若年層の来場者増が予想されます。参加者の希望留学プランは「語学留学」が最も多いものの、「大学・大学院留学」や「高校留学」など将来のグローバルな活躍を見据える真剣層の相談も多く見られました。そこで今回のフェアでは、中学・高校生向けに、春休み留学から高校・大学留学までプラン別セミナーを開催するなど、中高生の留学を強力にサポートする内容となっています。


▲2015 年 5 月ワールド留学フェア
セミナーの様子


▲留学カウンセリングの様子